



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成24年08月13日 第575号「週刊五十嵐レポート」

第2回管理職養成基礎講座

8月8日(水)、カメリアプラザ(江東区亀戸)にて「管理職養成基礎講座」(全4回)の第2回「管理職の業務のやり方」を開催しました。(講師:塚田哲夫氏) 受講者からは前回以上の評価をいただきました。

基本的な技術を身につけることが大事。

サッカーの場合、「ボールを受ける。とめる」「パスを送る」「走る(ドリブル)」「シュートする」。これができてはじめて試合になる。この一連の作業には、小学生のレベルからプレミアリーグのレベルまである。

我々の仕事では、「ボールを受ける」「人の話を聞く。理解する」「パスを送る」「話す。正しく伝える」「走る」「コミュニケーションをとる」「シュートする」「売上をあげる。成果を出す」。一流の選手、一流の社員はこの作業がしっかりできている。この基本的なことをマスターすること。それがトップから信頼されるようになる。

「積極的聞く姿勢」とは。

相手を認め、受け入れ、積極的に相手を共感する姿勢をとる。

聞いているときは、アドバイスをせず、相手の話を聞くことに徹する。

時々立ち止まって、相手の話を要約する。

相手は自分を受け入れてくれていると確信し、肯定的な態度を示してくれるようになる。

(話をさえぎらない。話題を勝手に変えない。気を散らさない。質問攻めしない。説教をしない。アドバイスをしない)

「戦略」「戦術」も大事ですが、社員、特に中間管理職には基本的な技術(「ボールを受ける」「パスを送る」「走る」「シュートする」)を身につけてもらうことが強い会社作りの早道です。

ちょっと
気になる出来事

ブログにも書いていますが、8月12日(日)、日経新聞の国際欄に「ミャンマー外資1号案件は電力 東洋エンジ系」という記事。

受注した日系企業は、タイ企業と合併の企業。記事にも書かれていますが、タイとミャンマーが密接の関係にあるということ。

日本→ミャンマーよりも日本→タイ→ミャンマーの方が仕事が進めやすいということ。

これは第572号(平成24年7月23日)週刊五十嵐レポートの「ポスト・タイはタイ」の中に、ミャンマーを攻めるにはタイをおさえる。

タイは日系企業が多く現地化しています。そこを活用してミャンマーに進出するほうが得策であると。

アセアンを見たときに、タイを中心に考えると周辺の展開が見えてきます。



一口メモ
成功の秘訣

人の強みを生かす(3)
適切に設計されているが

仕事は人の手によるものである。したがって不可能な仕事、人には出来ない仕事をつくってはならない。

しかしそのような仕事は多い。組織図の上では理屈が通っているが、誰にもこなせない。仕事のできることがわかっている人が次々と失敗する。その仕事についての者は半年か1年すると必ず挫折する。

そのような仕事は、通常例外的な人のためにつくられ、普通の人で稀にしか持ち合わせない気質を要求する。特殊な気質を要求する仕事は、不可能な仕事、人を殺す仕事となる。

まずは仕事が適切に設計されていることを確かめなければならない。不可能な仕事を行なわせるための天才を探そうとしてはならない。仕事そのものを設計しなかなければならない。

組織を評価する基準は天才的な人間の有無ではない。平凡な人間が非凡な成果をあげられるか否かである。

P.F.ドラッカー著「経営者の条件」(ダイヤモンド社)

- 週刊五十嵐レポート 毎週月曜日発行 ●月刊五十嵐レポートダイジェスト
- 町コンランチエスター経営戦略塾「会社成功塾」 毎週日曜日 午前10時~12時。
- 町コン・ランチエスター経営戦略セミナー 毎月東京開催

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 tigaras@attglobal.net

